

土石の堆積に関する工事の許可申請書 記入例

様式第四

土石の堆積に関する工事の許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法 令和〇年〇月〇日 佐賀県知事 殿		※手数料欄	
申請者 氏名 株式会社〇〇建設 代表取締役〇〇			
1 工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号 株式会社〇〇建設 (〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号 代表取締役〇〇)		
2 設計者住所氏名	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号 株式会社〇〇設計 〇〇		
3 工事施行者住所氏名	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号 株式会社〇〇建設 代表取締役〇〇		
4 土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	佐賀県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号 (緯度: 〇〇度〇〇分〇〇.〇秒、 経度: 〇〇度〇〇分〇〇.〇秒)		
5 土地の面積	3,000.0 平方メートル		
6 工事の目的	ストックヤード		
7 工事の概要	イ 土石の堆積の最大堆積高さ	4.5 メートル	
	ロ 土石の堆積を行う土地の面積	2,000.0 平方メートル	
	ハ 土石の堆積の最大堆積土量	1,300.0 立方メートル	
	ニ 土石の堆積を行う土地の最大勾配	11%	
	ホ 勾配が十分の一を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置	構台の設置	
	ヘ 土石の堆積を行う土地における地盤の改良その他の必要な措置	軟弱地盤については地盤改良を行う	
	ト 空地の設置	番号	空地の幅
	1	10.0 メートル	
チ 雨水その他の地表水を有効に排除する措置	排水施設・沈砂池を設け、公共下水道に排水		
リ 堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置	防水シートで被覆		
ヌ 工事中の危害防止のための措置	侵入防止柵の設置		
ル その他の措置	なし		
ヲ 工事着手予定年月日	令和〇年〇月〇日		
ヾ 工事完了予定年月日	令和〇年〇月〇日		
カ 工程の概要	〇月構台設置工 〇月搬入		
8 その他必要な事項	〇〇法第〇条の許可を取得済み		
※受付欄	※決裁欄	※許可に当たって付した条件	※許可番号欄
年月日			年月日
第 号			第 号
係員氏名			係員氏名
【注意】 1 ※印のある欄は記入しないでください。 2 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。 3 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。 4 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。 5 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。 6 7欄は、鋼矢板等を設置するときは、当該鋼矢板等についてそれぞれ番号、種類、高さ及び延長を記入し、それ以外の措置を講ずるときは、措置の内容を記入してください。 7 8欄は、土石の堆積に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。			

佐賀県は第30条第1項（特定盛土等規制区域）のみ

<申請者氏名>個人の場合は氏名 法人の場合は法人名及び代表者名記載
※記載事項確認のため、連絡先・担当者名を記載

<工事主住所氏名>
個人の場合は住所・氏名
法人の場合は株式会社における取締役など、法人の業務を執行する者及び事業について決定権を持つ者の住所・氏名をすべて記載

<設計者住所氏名>
個人の場合は住所・氏名 法人の場合は所在地、法人名及び設計者名を記載

<工事施行者住所氏名>
個人の場合は住所・氏名 法人の場合は所在地、法人名及び代表者名を記載
未定のときは、「許可後決定予定」と記載後、後日、工事着手前に書面で提出（任意様式）

<土地の所在地及び地番>
申請地内のすべての地番を記入、入らない場合は別紙で提出
【緯度・経度】地理院地図（電子国土WEB）等で座標を確認
（世界測地系60進法で少数点以下第1位まで記載）

<土地の面積>盛土・切土を行わない部分や法面も含む土地の総面積
小数点第2位を四捨五入し、小数点以下第1位まで記載

<工事の目的>工事の目的を記載

<土石の堆積の最大堆積高さ>土石の堆積を行う最大の高さを記載

<土石の堆積を行う土地の面積>土石の堆積を行う最大の面積を記載

<土石の堆積の最大堆積土量>土石の堆積を行う最大の土量を記載

<勾配が十分の一を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置>
土石の堆積を行う土地の最大勾配が1/10を超える場合は「構台の設置」等、堆積した土石の崩壊を防止するための措置を記載

<土石の堆積を行う土地における地盤の改良その他の必要な措置>
地表水等による地盤の緩み等が生じる恐れがある場合は、地盤の改良その他の必要な措置を記載

<空地の設置>数が多い場合は別紙に記載

<雨水その他の地表水を有効に排除する措置>
地表水を有効に排除する措置を記載

<堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置>
鋼矢板を設置するときは、当該鋼矢板等についてそれぞれ番号、種類、高さ及び延長を記載 それ以外の措置を講ずる場合、措置の内容を記載

<工事中の危害防止のための措置>
仮囲いの設置や仮排水工、法面保護工等の実施の概要について記載

<その他の措置>
他の欄に記載しているものに特筆すべき措置を実施する場合記載

<工事着手予定年月日>工事に着手する予定の年月日を記載
(許可までの期間を十分確保してください)

<工事完了予定年月日>工事を完了する予定の年月日を記載

<工程の概要>工種が多い場合は工程表を作成

<その他必要な事項>
他法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記載